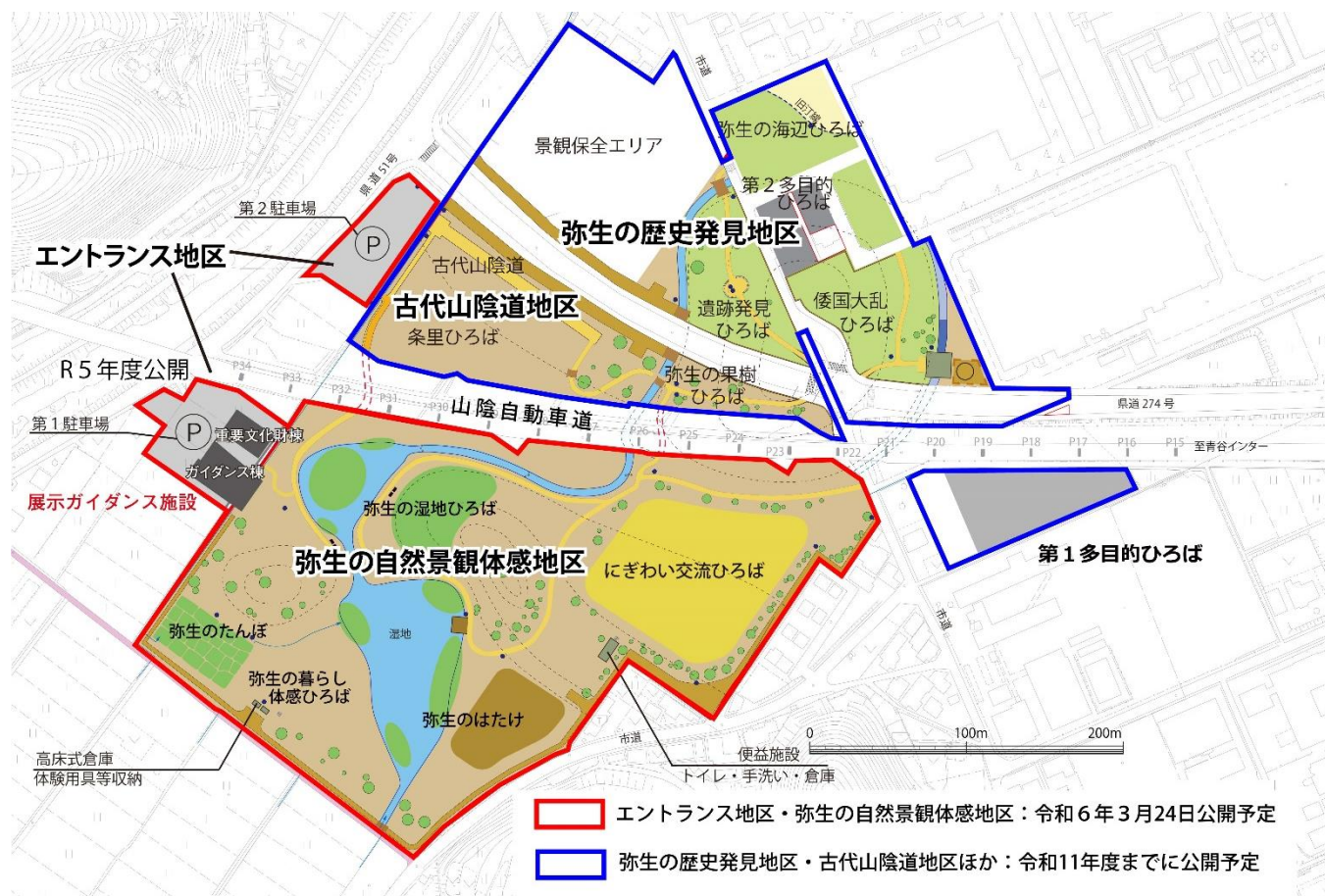


青谷かみじち史跡公園の概要

令和6年3月11日
鳥取県立青谷かみじち史跡公園

1 自然景観体感地区（屋外）

○自然景観体感地区は発掘調査による調査研究等に基づき弥生時代の湿地、水田、畠、高床倉庫を再現しました。史跡公園の機能として、植栽、園路・管理用道路、看板・照明、管理施設の設置工事を実施しました。



史跡整備全体図と令和5年度公開範囲（赤線範囲）

2 展示ガイダンス施設

○体験学習施設などを備えたガイダンス棟と、令和元年に国の重要文化財に指定された出土品を収蔵・展示するための重要文化財棟の2棟があり、令和5年2月に完成しました。

①ガイダンス棟（木造平屋建て、建築面積：約720㎡）

- ・「青谷の里巡り」をテーマに弥生時代の青谷上寺地遺跡とその世界観を表現し、出土人骨の復顔模型やDNA分析など最新の研究成果を展示します。また、誰もが楽しめるように「あわびおこし」などの手で触れて楽しめる展示も設置します。体験学習室やイベントステージ等に活用できる多目的デッキを設け公園と一体的に活用します。
- ・CLT（直交集成板）を耐力壁に用い、環境面に配慮するとともに木のぬくもりを感じる建物です。

②重要文化財棟（鉄筋コンクリート造、2階建て（一部3階）、建築面積：約640㎡）

- ・国指定重要文化財1353点を適切な保存環境に収蔵展示する施設で、重要文化財展示室、企画展示室、収蔵庫、管理事務室などからなります。
- ・従来の考古資料館とは異なる、青谷の出土品の「美しさ」を引き出す「弥生の美術館」をテーマとした展示空間を実現しました。



湿地周辺整備状況



高床倉庫（体験道具倉庫）



展示ガイダンス施設（ガイダンス棟、重要文化財棟）



体験学習室（ガイダンス棟）



ガイダンス展示室（ガイダンス棟）



重要文化財展示室（重要文化財棟）



収蔵庫（重要文化財棟）